

## 社会資本総合整備計画 事前評価書

平成31年1月25日

事業主体:小矢部市

計画の概要	計画の名称	小矢部市における生活環境の安全性及び利便性を高める道路整備
	計画期間	平成31年度～平成35年度(5年間)
	計画の目標	歩行者等の安全性を高め、緊急車輛等の通行を可能とするための拡幅整備あるいは延伸を行うとともに、冬季交通を確保するための消雪施設の更新や除雪の実施により、生活道路の環境改善を図り、市民生活と地域経済活動を支える安全で便利な道づくりを目指す。
	定量的指標	・小矢部市内における歩行者・自転車の交通事故(人身事故)の発生を低減させる。 ・小矢部市道における老朽化した消雪施設の整備更新率を高める。
	全体事業費	1,892百万円

	項目	評価細目	判定 ○or×	説明欄
	計画の妥当性		①関連する上位計画等と整合性が確保されている	○
②地域の課題に適切に対応する目標となっている			○	小矢部市総合計画の政策の目標及び施策の方向性と一致している「市道の整備促進」・「道路除排雪の充実」・「消雪施設の整備」
計画の効果・効率性		①整備計画の目標と定量的指標の整合性が確保されている	○	整備計画の目標に合わせた指標となっている
		②定量的指標がわかりやすいものとなっている	○	統計データを基にした指標であり、わかりやすさに配慮した指標となっている
		③目標と事業内容の整合性が確保されている	○	目標達成に必要な事業を要素事業として位置付けており、整合性を確保している
		④中間評価・事後評価時の検証可能な指標となっている	○	毎年の統計データを基にした指標であり、中間・事後評価を実施できる
		⑤十分な事業効果が得られる計画となっているか	○	目標達成に必要な事業を要素事業として位置付けており、十分効果が得られる計画となっている
計画の実現可能性		①計画の具体性など、事業の熟度が高い	○	目標達成に必要な事業を要素事業としており、計画の熟度及び円滑に事業を実施できる環境は整っている
		②計画について住民等との間で合意が形成されている	○	地元要望による事業を要素事業としており、地元との合意又は理解を得られている
評価結果		事業を実施	○	全項目に○印が付いているもの
		計画の見直し		1項目でも×印が付いているもの